



歴史調査シート

4年3組 名前 きのぽん



調べた場所

日立市

調べること

せい

日立製作所のそう業

お話を聞いた人の
お名前

日立 花子さん

日時

7月30日 3時30分

場所

図書館

場所や人、できごとなどの名前は、むずかしい漢字でも正しく書いて読みがなをつけましょう。



いつ?

そのできごとはいつのことなのか、まず大まかな時代を聞こう

明治43年(1910年) 明治時代の終わりごろのこと。



どこで?

できごとが起きた場所はどこか、できるだけくわしく書こう

いまの茨城県日立駅から山がわの大雄院(だいおういん)にあった日立鉱山新精錬所(ひたちこうざん しんせいれんじょ)の一角。



だれが?

できごとにかかわった人の名前を書こう

小平浪平(おだいらなみへい)さん



何をした?

どんなできごとだったのか、できるだけくわしく調べよう

鉱山で使う電気きかいのせい作やしゅう理を行っていた小平さんは、日立鉱山の一角にしゅう理工場をつくり、変圧器(へんあつき)やモーターをせい作、しゅう理していた。これが日立製作所の起げんとなった。



なぜ?

なぜそのできごとが起きたのか、理由を調べよう

工業が発てんし、さん業の原動力がじょう気から電気にかわっていた。

外国せい品ばかりの中で日本の国さんのせい品がもとめられた。

他にも気づいたことをメモやスケッチしておこう

日立のモーターをかたどったもなかをどこかで売っているらしい。
ぜひ、食べてみたい。

写真や絵を入れると
わかりやすいよ。